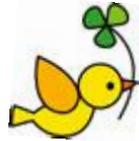


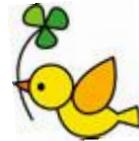
# 学校だより

# 第3号

神奈川県立伊勢原養護学校  
平成29年6月20日発行



「力をつける」



教頭 大和田 好幸

新学期が始まり2ヶ月が経ちました。つつじの花が終わり、梅やびわの実がなる時期になりました。大山もすっかり上の方まで新緑で覆われるようになりました。

1年のうちで1番過ごしやすいこの4月・5月は、天候も安定し穏やかな時期です。修学旅行、宿泊学習、遠足と大きな行事が続きました。各学年とも充実した活動と楽しい思い出ができました。

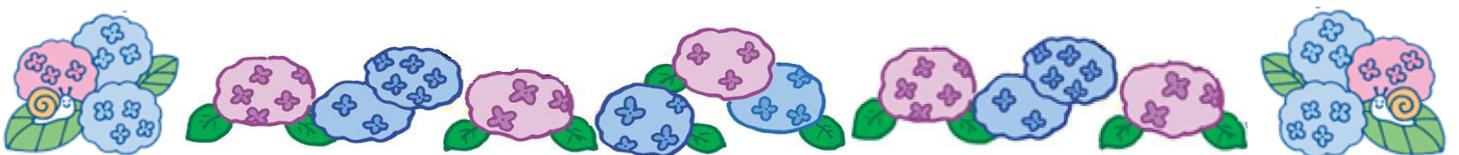
また、5月末～6月初めにかけてゆうあいピック大会がありました。サッカーは優勝。バスケットボールも男子は優勝、女子は3位と大健闘でした。保護者の皆様には多くの応援をいただきありがとうございました。

この他にもご報告すべきことが数々あります。

6月6日、伊志田高校体育祭に分教室が参加しました。季節毎のチームに分れ、それぞれチームに溶け込んで活躍していました。応援も一生懸命行っていました。綱引きでは、全身の力を振り絞り躍動感あふれる活躍が見られました。

6月8日、伊勢原市と姉妹都市のラミラダ市（アメリカ合衆国 カリフォルニア州）より2名の教育関係者が学校見学されました。そのうち1名は、アメリカの特別支援教育機関の仕事に携わる専門家で、各学部の授業を参観して、「小学部の朝の会はアメリカの学校と共通する部分がある。」「高等部作業班の作品は素晴らしい。」「日本の教育のレベルの高さに驚いた。」等の感想を話してくださいました。アメリカで日本の様子を伝えてくださり、交流の一助となればと思います。

あっという間に3ヶ月が経とうとしています。子どもたちも新しいクラスにすっかり慣れ、力を発揮する環境が整ってきたのではないかと思います。また、様々な体験を通して興味・関心が広がった人も多いと思います。ますます様々な力をつけ、それぞれの目標に向かって確かな歩みを進めてもらいたいと思います。



# 環境安全班 避難訓練

4月25日、今年度第1回目の避難訓練を実施しました。火災発生を想定しての訓練です。年度が変わり、新しい体制で児童・生徒を安全に誘導すること、本部、消火班や搜索班、救護班など、担当する職員の準備や動きを確認することが大切になります。

サイレンが鳴り、「〇〇で火災が発生しました。」の放送で消火班の教員は出動、初期消火にあたります。そして、放送の指示で児童・生徒は避難を開始します。集合場所に避難が完了すると人員確認をし、行方不明者がわかります（高等部の生徒が行方不明者役を演じ、校舎のどこかに潜んでくれます）。そこで搜索班の教員が搜索開始。発見するとトランシーバーで連絡を入れ、救護班の教員が出動、負傷した生徒を担架で運び、訓練は終了します。児童・生徒のみなさんも落ち着いて行動ができ、全体的にスムーズに進行ができていましたが、出てきた反省点や改善点を今後に生かし、今年度も災害時にしっかり備えていきたいと思えます。

最後に災害豆知識。

安全に避難するために大切なポイント『お・か・し・も』についてです。

皆さんはご存知ですか？

よかったらご家庭でも話のタネにしなが  
ら、災害について確認しあう機会に  
してみてください。



# 行事企画班 芸術鑑賞会



5月10日（水）に、体育館で芸術鑑賞会を行いました。今回お呼びした方は「打！ファンタスティックス」のみなさんです。小太鼓や鉄琴など、音楽の授業で使ったことのある楽器から初めて見るような大きなマリimbaまで、たくさんの楽器が所狭しと体育館のステージに並べられ、みんな始まる前からドキドキわくわくしている様子でした。

1曲目の『剣の舞』が始まったときから、みんなの目はステージ上のマリimbaに釘付け！何と3人同時に1台のマリimbaを演奏していました。メロディーを演奏していたかと思えば、次の瞬間にはくると回って伴奏パートの位置へ移動したりと、スピード感のある曲の雰囲気そのままの演奏でした。

そのほかにも、まな板やお鍋、しゃもじやお玉などの台所用品を使って楽しくリズムを刻んだ曲や、運動会の徒競走で有名な『道化師のギャロップ』、「打！ファンタスティック」さんのスペシャルアレンジによる伊勢原養護学校の校歌など、たくさんの曲を演奏してくださいました。

また、子ども達が事前にリクエストしておいた『夢をかなえてドラえもん』の曲が始まると、一気に笑顔になり、うれしそうに歌を口ずさみながら手をたたいたり、体を動かしながら聴いている姿が見られました。アンコールでは、「恋ダンス」として有名になった星野源さんの『恋』の演奏もあり、会場全体がとても盛り上がり、今年の芸術鑑賞会が終わりました。

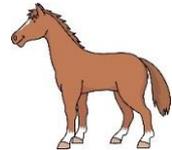


# 分教室 修学旅行

4月19日(水)から21日(金)の日程で分教室3年生は沖縄へ行ってきました。事前の天気予報は3日間とも雨…。羽田空港で見た天気予報も雨。天気は悪くても、青い海と異国情緒あふれる街並みと沖縄独自の文化を感じられることに期待しながら空の旅へ。那覇空港に到着すると、心地よい風と雲の合間から太陽が顔を出しており、天気予報は嬉しい大はずれ。みんなの想いが晴天を呼び寄せてくれました。1日目は平和学習が主で、ひめゆりの塔、摩文仁の丘を見学し、沖縄で起こった戦争の悲しみの深さを学びました。宿泊先はプライベートビーチ付きのリゾートホテル。白い砂浜ときれいな海に大興奮。みんなで写真をたくさん撮りました。2日目は小雨が降る中、路線バスに乗って琉球村へ。本場のエイサー演舞の迫力に圧倒されました。実際に演舞されていた方々が講師となり、エイサーの振り付けを体験しました。ホテルに戻ると小雨も上がり、晴れ間が！照り付ける太陽のもと、船に揺られながらヨウ島(無人島)へ。生徒みんなが楽しみにしていたシュノーケル体験を行いました。初めて身につけるウェットスーツ、足ヒレに胸をおどらせ、いざビーチへ！海の水はまだ少し冷たかったものの、エイッと海へ。ゆっくりと沖へ進み、プカプカと海の底を見下ろすと魚たちが人懐こく寄ってきました。太陽の日が差しキラキラと光る海の中の風景は、時間を忘れるほど楽しい思い出となりました。最終日は首里城へ。3日間が一番暑く気温は30℃。汗がどんどん流れます。班に分かれて国際通りを散策。市場、カフェなどそれぞれ事前に調べたお店で食事をとり、お土産をたくさん買いました。石垣産のパイナップルを3個買った生徒も。帰りの飛行機ではみんなぐっすり。あっという間に過ぎた3日間の修学旅行は、天気にも恵まれ最高の思い出となりました。



# 高等部 修学旅行



「フライアウェイ北海道へ テイクオフ大空に 友と笑い友と歌う修学旅行♪」音楽の授業で作詞した歌「北海道へフライアウェイ」の最初の歌詞です。この歌をみんなで歌って気持ちを高め、高等部3年生が2泊3日の修学旅行に行きました。1日目、羽田空港から飛行機で新千歳空港へ。その後札幌市内をグループ別行動しました。JRタワーの展望室で札幌市内を上から眺めたり、大通り公園と札幌テレビ塔を見学したり、ラーメン共和国や白い恋人パークを見学したりなど、充実した時間を過ごしました。宿泊地は定山溪温泉です。ホテルに着くと、まず自分が1日に使ったお金をお小遣い帳につけ、計画的にお小遣いを使うことができました。ホテルでは北海道の味覚を味わえる他、露天風呂もあり楽しい思い出ができたのではないのでしょうか。2日目は白老ポロトコタンでアイヌ民族の伝統的な音楽舞踊体験を行いました。民族衣装を身にまとい、踊りの振り付けはすぐに覚えみんな盛り上がりました。その後、洞爺湖に近いレイクヒルファームでしばらくたての牛乳を使ったジェラート作り体験を行いました。みんなで交代しながらひたすらかき混ぜて、滑らかなおいしいジェラートに仕上がりました。3日目はノーザンホースパークで馬とふれあいました。クラスごとに引き馬体験をしたり馬車に乗ったり、ポニーショーを観たりとそれぞれ楽しんだ後、ジンギスカンの昼食を味わいました。たくさん体験し、たくさん学んだ修学旅行。友達同士の絆もいっそう強くなったことでしょうか。残りの高等部生活を悔いの無い充実したものにしてほしいと思います。